

第17号

# こんにちは 青葉のまちセンです



編集・発行 青葉まちづくりセンター  
青葉町3丁目(青葉会館内)  
892-8177・FAX 892-6613

まちづくりセンター発の情報紙です。知りたいこと、知らせたいことはありませんか?ご意見・ご感想・投稿大歓迎。よろしくをお願いします。

## 青葉中央公園で堆肥づくり

青葉まちづくり会議環境部会などで構成される青葉中央公園ジャック実行委員会は、今年度、地域のグループに呼び掛けた「花壇づくり」、「自然観察会」を実施しました。このほど、厚別区土木センターから、地域との共同による環境保全活動、循環型社会への一つの試みとして、公園の落ち葉を利用した堆肥づくりの提案があり、公園ジャックの実行委員を中心に、10月23日、そして11月13日の両日、堆肥づくりを行いました。

土木センターの職員から作業手順の説明を受け、同センターで事前にセットしていただいた堆肥枠(木枠)に落ち葉を集めるべく、さっそく、作業開始。

堆肥づくりは、堆肥枠に落ち葉を敷き詰め、その上に米糠などの窒素分、発酵促進剤をふりかけ、さらにその上に、また落ち葉を敷き詰め・・・と繰り返し、層状にして醗酵させるもの。1年程度で腐葉土ができるとされています。

参加された皆さんは、冷え込みが厳しい中、精力的に落ち葉を集めていました。

できあがった堆肥は、まず花壇や青葉中央公園内花壇用の肥料として活用していくことになります。



皆さん、お疲れさまでした!

## ハロハロハロウィン カーニバル!

ハロウィン(キリスト教の諸聖人の日『万聖節』〔11/1〕の前夜祭)は、秋の収穫を祝い、悪霊を追い出す祭りで、キリスト教の国々では、仮装した子どもたちが「Trick or treat!(お菓子をくれないといたずらするぞ)」と言って近所の家を回ります。

青葉児童会館(山田弓人館長)で10月28日ハロハロハロウィンカーニバル、30・31日にはパート2として、パレードを行いました。

このハロウィンの行事に先立ち、青葉児童会館のボランティアクラブのみんなが、ハロハロハロウィンカーニバルの案内文を絵手紙に書いて、地域のお年寄りの方々へ送りました。みんな、一所懸命、思い思いにハロウィンにちなんだ絵をかき、メッセージを添えた絵手紙を作りました。



絵手紙を前に。どれも力作揃い！  
**浅川女性部長、札幌市自治振興功  
労者表彰を受賞！**



浅川女性部長 現青葉町自治連合会  
女性部長として、地域住民活動を通じ地  
域の自治振興に大きく貢献された。」こ  
とを評価されてのものです。

厚別区からの今年度の受賞者は、厚別  
中央連合町内会の斎藤女性部長と浅川  
部長のお二人です。

浅川部長、おめでとうございます。こ  
れからも、ますますのご活躍を！

青葉自治連の浅川女  
性部長が、今年度の札  
幌市自治振興功労者  
表彰を受賞されまし  
た。「多年にわたり、  
町内会の婦人部長等  
を歴任するとともに、

## D.I.G.

D.I.G.とは、Disaster(災害)  
Imagination(想像力) Game(ゲーム)の  
頭文字をとったもので、参加者が地図を  
使って防災対策を検討する訓練です。

去る10月31日、青葉会館で、まちづ  
くり会議防犯防災部会の今年度の活動  
の一環として、青葉地区の16名の方  
々の参加を得てD.I.G.を実施しました。

当日は、参加者を3グループに分け、  
厚別区市民部の3名の職員が各グル  
ープのコーディネーター役となり、地  
図を広げ、地域の現状や特徴、災害  
時のプラス要素、マイナス要素、災  
害リスクやその対処法などについて  
意見を出し合い、最後にグループ発  
表を行いました。

意見を出し合う中で、これまで気が  
付かなかった地域の状況を発見し  
たり、災害への対応について認識  
を新たにするなどの効果があった  
ようです。



さまざまな意見が！

### 【所長のひとり言】

10月1日付けの人事異動で着任いた  
しました。今後ともよろしくお願  
いいたします。(渡邊)